

現状

○多様な進路希望を持った生徒
(毎年、30人を超える就職希望)



	H23.3卒業生実績	現3年生希望
民間企業	9.5% (25人)	13.0% (32人)
公務員	0.4% (1人)	0.8% (2人)
四年制大学	29.5% (78人)	36.6% (90人)
短期大学	13.6% (36人)	12.2% (30人)
看護・医療系専門学校	7.2% (19人)	6.5% (16人)
その他の専門学校等	29.2% (77人)	30.9% (76人)
進路未定者	6.8% (18人)	
進学浪人	3.8% (10人)	

○就職内定率

	希望者数	就職者数	内定率
H23.3末	32	26	81.3%

指導内容

○普通科総合選択制のメリットを生かした教科指導
・進路希望に応じた6つのエリアと多様な選択科目を設置し、進路実現の力をはぐくむ。

○組織(進路、学年、総合的な学習の時間の連携)

進路指導部…就職担当1名
各学年担任団…進路担当2名(1名は就職担当)

総合的な学習の時間(緑風冠スタート・アップ)におけるキャリア教育を担当

○主な取組(入学から卒業までを見通した計画)

- ・進路希望調査(全学年:4月当初)
- ・「仕事しらべ」学習課題(1年:7~11月)
- ・進路別「出前授業」(2年:6月)
- ・オープンキャンパス参加課題(2年:8月)
- ・分野別説明会(1、2年:12月~1月)
- ・分野別講習会(3年火曜7限:通年)
就職:就職ゼミ、大学・短大:学習講座(国数英)、
看護師:看護ゼミ、美容師:美容実習講座、
他の専門学校:専門学校講座
- ・進路別学校見学会、ハローワーク見学会(3年:7月)
- ・応募前職場見学(3年:7~8月)
- ・進路講演会(3年:10月)



「実践的キャリア教育・職業教育」支援事業を活用して、次の取組を進めます

職業適性診断テストの実施(継続)

5月上旬に、就職希望者に実務教育出版「一般職業適性検査」、「興味検査」を実施し、企業選択におけるマッチングを高めるとともに、就職後の離職率の低減を図る。

応募前職場見学の実施(継続)

7~8月に就職希望者に各企業の見学会に参加させ、希望業種・職種を再確認させることで、採用試験の合格可能性を高め、就職後の早期離職を予防する。

進路・就職情報の提供(継続)

旺文社「蛍雪時代増刊号」を各クラスに配付し、進学希望者に最新の進路情報を提供する。就職希望者にベネッセ「就職対策ドリル」を購入させ、採用試験合格に必要な力を養う。

就職支援コーディネーターの活用(拡充)

「就職ゼミ」で、コミュニケーション能力の向上のための指導を実施して面接対策指導の充実を図るとともに、継続した求人開拓を行うことで、就職率の向上を図る。

進路別学校見学会等の実施(継続)

7月の夏季休業直後に、学校行事として、大学・専門学校別に学校見学を行う。就職希望者はハローワークを見学し、就職の現状を把握する一助とする。

進路講演会の実施(拡充)

進路内定者の割合が多くなる時期(10月下旬)に、社会人になるための心構えについて、外部講師による講演を行い、卒業後を見据えた指導を図る。

成果

- 平成23年3月末の就職内定率 81.3% を 3年後に 90.0%に上昇させる。
- 平成23年3月末の進路未定率 6.8% を 3年後に 5.0%に縮小させる。
- 普通科総合選択制アンケートの「卒業後の進路は、自分が選択したエリアと関連がある」約50% を 3年後に 70%に上昇させる。

